

政策評価・事務事業評価実施後における執行者対応等検証シート

【事業名称】 おおたスポーツアカデミー運営委託事業

	H30年度予算額	H29年度決算額	H28年度決算額（評価実施年度）
事業費	22,900,000 円	21,285,091 円	21,986,543 円

○事業評価チェック表（政策評価・事務事業評価実施時における事業概要及び事業実績並びに評価結果）

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 ジュニアスポーツ競技者の強化育成及び普及啓発を積極的に推進し、競技力向上はもとより、健全な青少年育成に寄与する。 ねらい <ul style="list-style-type: none"> 各部（本校）開催事業：ジュニア世代のスポーツ普及啓発を図るとともに、トップアスリートを輩出すべく強化体制を確立する施策を講じる。同時にスポーツを通じた青少年の健全育成を図る。 各部（支部）支援事業：地域におけるスポーツの普及及び底辺拡大を図るため、支部活動に対し公的支援を行う。 特別活動各種事業：大会、合宿、強化練習会、講習会等に積極的に参加し、競技力の向上と意識改革を図る。 スポーツ指導者派遣事業：専門的知識を持つ優秀な指導者を派遣することにより、スポーツ選手のより一層の技術力の向上を図る。 予算 平成28年度当初予算 22,900,000 円 ・平成28年度決算額（事業費+会員収入） 49,388,643 円 			
	DO	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績 <ul style="list-style-type: none"> 各部（本校）開催事業：16種目 26部（受講者数1,435人、指導者数312人）活動回数 24回から170回 各部（支部）支援事業：10種目 18支部（受講者数 922人、指導者数 113人）活動回数 週1回から4回実施 特別活動各種事業：大会、合宿、強化練習会、講習会等（平成28年度実績 174事業） スキー教室 2回実施、体験教室 2回実施・チャンピオンシップ開催 13種目 220チーム参加 スポーツ指導者派遣事業：市立太田高校指導者派遣 陸上部・ソフトボール部・バスケットボール部・レスリング部・硬式野球部 市立東中学校指導者派遣 柔道 		
CHECK		総合評価	評価基準	評価（該当欄に○）
	きわめて良好である			
	良好である			
	おおむね良好である		○	
	問題がある			
不適正である				
ACTION	改善 （今後の方向性）	評価基準	評価（該当欄に○）	議会評価（今後の事業展開） 強豪選手を輩出する本事業の成果は、広く認知される。一方、子どもたちのスポーツ環境は、ひとり親や共働き家庭の増加などにより変化し、練習や大会に送迎を要するスポーツ団体への参加を断念する例も多い。また、学校の部活動においては、少子化による種目の減少や指導者不足などにより、十分に機能を果たし得ない。この現状を鑑みたとき、本事業の指導者派遣、地域に出向いた活動、既存の部活動の枠組みを超えた活動に更なる創意工夫を加えることで、より多くの子どものスポーツを通じた仲間との団結、切磋琢磨、技能向上の追及を実現させ、心身を磨く機会を提供し得ると考える。本事業の発展可能性は高く、その進化に大いに期待する。
		拡充する		
		現状のまま継続する		
		改善・効率化し継続する	○	
		見直しのうえ縮小する		
廃止する				

○執行者対応等確認表（委員会の評価結果を受けての執行者の対応）

CHECK	事業実績の比較、評価後の改正点等	<ul style="list-style-type: none"> 政策評価・事務事業評価実施後の事業実績（評価実施時との比較） 政策評価・事務事業評価実施後の改正点、または見直しを行った点（改正等を行わなかった場合は、その理由等） 新設部 ジュニアテニス部Bの開講（月2回） ・体験教室：2回から3回（1回増）288名 新規事業：中学バレーボール体験コースの実施 対象 小学6年生（1月～3月） 新規事業：男子ソフトボール教室の実施 対象 小学生（9月～3月）
	今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業方針（事業実績に対する評価も含む） おおたスポーツアカデミーの受講者数も年々増加しており、H29年度は過去最高の受講者数（1,488名）となりました。今後も、より一層ジュニアスポーツの強化育成及び普及啓発を推進し、スポーツを親しむ子供たちが増えるよう環境整備に努めていく。 また、今年4月にスポーツ庁が各都道府県に部活動に関するガイドライン（練習時間の制限・休養日の設定など）が示されたことにより、おおたスポーツアカデミーでも特色を生かした事業の拡充が望まれることから、学校関係や各競技団体と連携を図りながら、ジュニアスポーツの発展に努めたいと考えている。

○検証結果（執行者の対応に対する委員会の評価）

ACTION	対応への評価、課題・改善点等（今後の事業展開等含む）	委員会における検証結果
		<p>評価実施後、平成29年度において過去最高の受講者数を記録し、新設部の開講、新規事業を実施する等、少子化等により部活動で出来ない種目を補うおおたスポーツアカデミーの活動は、ジュニアスポーツの発展に大いに寄与しており、その貢献度は高い。更に、優秀な成績を修めた選手について、学校への報告を始め、ホームページや広報活動を通じて、更なる活躍の幅が広がるよう対外的にPRしている点についても高く評価する。</p> <p>今後、競技人口や他チームと積極的な交流を図れるかどうかといった点を考慮した新規事業の実施（種目の選定）、引き続き優秀な指導者の確保、地元高校と連携を図る等、好成績を修めた選手の市外強豪校への流出といった課題の解消に向けた取り組みの検討をしていただきたい。また、学校関係者や各競技団体との協議を綿密に行うことで、近年、スポーツ界に起こる団体の権力一極集中、ハラスメント等に対する徹底したチェック機能確立し、不測の事態にも備えた体制づくりについても要望する。</p>